



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡県静岡市南町 10-6 村上駅南ビル 703

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

2005年4月号

号外



参議院議員

藤本祐司

## 新たなる地方の時代

市町村合併が進んでいます。平成11年3月には、全国に3,232あった市町村が、今年の3月末時点で2,521となり、来年3月末には1,822になることが予想されています（平成17年3月31日現在総務省発表）。

静岡県においても、4月1日には新磐田市、新袋井市、新掛川市、新沼津市、新伊豆の国市、新西伊豆町と6つの市町村が新たに誕生しました。全国では、この4月1日に過去最高の44市町村が発足しました。

また、新静岡市は、この4月1日に、静岡県初、全国で14番目の政令指定都市に生まれ変わりました。私としては、県下初の政令指定都市になり、しかも合併後初の市議会議員選挙であることから、先月末の静岡市議選には、住民の多くの方々が選挙に関心をもってもらえるだろうと期待をしていました。ところが、投票率をみると、1区（葵区）が51.2%、2区（駿河区）が49.4%、清水区が59.2%という低調な結果に終わってしまいました。

市町村合併は、地方分権を前提として、地域のことは地域で考え、行動する仕組みを動かす手段の1つでもあります。単に地方財政が窮乏するなかで、市町村単独ではやるべき事業を満足に行えないから、財政規模を拡大するためだけに合併するものではありません。地域主権を達成するためには、財源のみならず権限も地域に移し、**自らの自由裁量と責任**において必要と考えられる事業を遂行することが必要となります。そこには、住民の存在が最も大きく関わってきます。これまでのように、市町村は都道府県や国に頼り、補助金をつけてもらうことだけに関心を持つ時代は終わりに近づいています。今までは、道路が整備されないと、住民は市を責め、市は県の責任だと主張し、県は国土交通省のせいにし、国土交通省は財務省が予算をつけてくれないからだといって、誰も責任を取ろうとしませんでした。

これからは、地域主権の時代に移り、自由裁量の中で事業を行うことはできるものの、責任も地域に課せられるという、自立性が重んじられるようになるのです。ちょうど子供たちが成長して、自活できるようになるのと同じだと思って頂ければ良いと思います。

つまり、住民は、これまでのように行政に依存するのではなく、自らが考え、行動しなければなりません。国民は、市町村、都道府県そして国に何をしてもらうのかではなく、**自分たちが住み、働く地域に対して、自分たちに何ができ、何をすべきかを考えて行動することが必要になってきたのです。**

それからすると、静岡市議選の投票率の低さ、市民の関心の低さは、大きな問題です。もっとも、有権者や納税者を前にして、心地良く、耳障りの良いことしか言わず、自分の選挙のことを最優先する議員（もちろん、国会議員も同様です）こそが反省しなければならないようにも思います。そして、首長もビジョンや政策を具体的に示し、市民と一体となって市政を進めるという姿勢を明確に打ち出すことも必要です。本当に必要な三位一体の改革とは、国民、政治家、行政（役人）が三位一体となって、その意識（価値観）と行動の改革を実行することだと私は考えます。

### 国会事務所からの便り

3月には、予算の審議が衆議院から参議院に移りました。また、その他の法案も徐々に衆議院から参議院に審議の場が移りました。このような事情から参議院議員は3月中旬から下旬にかけて急に多忙になる場合が多いのですが、私も例に漏れず、3月18日、22日、30日と3月後半は週に一度のペースで質問に立ちました。

3月18日は総務委員会で45分間、麻生大臣に論戦を挑みました。テレビ、ラジオ、新聞の兼営がめずらしくない現状を確認し、テレビ・ラジオ・新聞の3事業兼営を禁じたマスメディア集中排除原則の形骸化を指摘しました。

3月22日は沖縄北方特別委員会で50分間、小池沖縄北方担当大臣と議論を行いました。沖縄振興を取り上げましたが、シンクタンク時代の研究テーマの一つであり、言いたいことが多すぎて用意した原稿がほとんど役に立ちませんでした。時間がもっと欲しいところです。

3月30日も沖縄北方特別委員会で30分間、再び小池大臣に質問しました。沖縄に設立予定の沖縄科学技術大学院大学の設立準備をするための独立行政法人をつくるという法案がテーマです。大学院大学にはまだ研究者が集まっておらず、すべてがこれからという状態です。

また、4月5日に民主党内で、ローカル・マニフェストの推進普及を目的とした「ローカル・マニフェスト推進会議（仮称）」を立ち上げます。私はローカル・マニフェストについて著書もあることから、事務局長に抜擢されました。これからの重要な仕事となります。今後にご期待下さい。



3月18日、総務委員会委員会質問



3月22日、沖北委員会にて 質問も結構なれました

## 座談会開催のお願い

一人でも多くの方と、座談会を通じて話をしたいと思えます。参議院議員藤本祐司と膝をつき合わせて、ゆっくり話をしませんか！？

下記事務所までお気軽にお声掛けください。お待ちしております。

## 民主党党员・サポーター募集

皆さんも民主党に参加しませんか？民主党の運営と活動を支え、ともに行動する 党员・サポーター を募集しています。党员・サポーターは民主党を応援したいという18歳以上の方であれば誰でも参加できます。右記事務所までお問い合わせ下さい。詳細をお伝えいたします。

党员費：6000円

サポーター費：2000円（いずれも年会費）

《静岡事務所》 〒422-8067

静岡市南町10-6 村上駅南ビル703

TEL 054-280-7604 FAX 054-285-7993

《東京事務所》 〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館  
508号 TEL 03-3508-8508 FAX 03-5512-2508

URL : [www.fujimoto-yuji.org/](http://www.fujimoto-yuji.org/)